

セネガル共和国
職業訓練センター拡充計画
実施協議調査団報告書

平成 11 年 1 月

LIBRARY

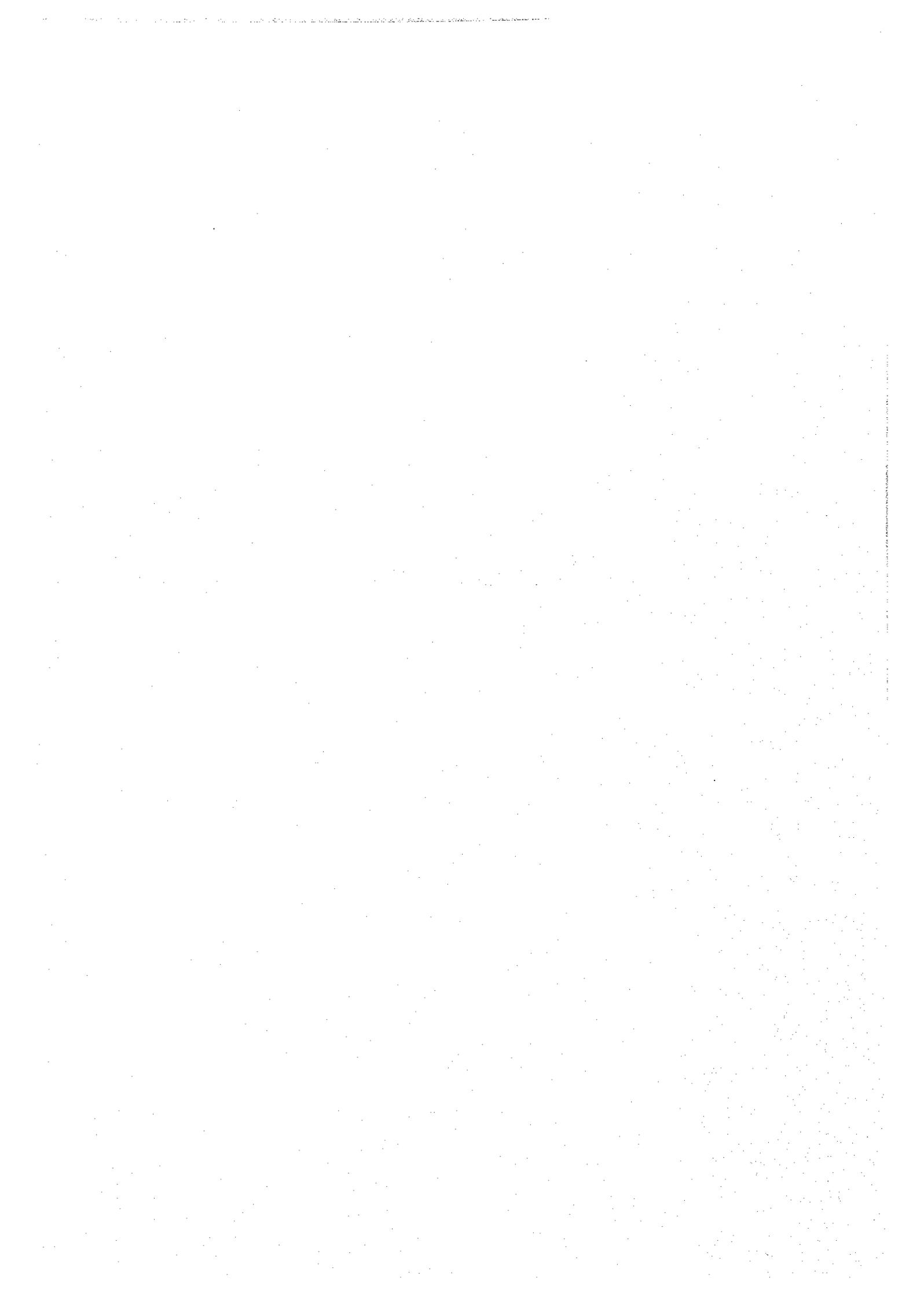


J 1150736 (5)

国際協力事業団
社会開発協力部

526
21.3
SOS

社協三
JR
99-001



セネガル共和国
職業訓練センター拡充計画
実施協議調査団報告書

平成11年1月

国際協力事業団
社会開発協力部



1150736 [5]

序 文

セネガル共和国は長年の落花生栽培に大きく依存した経済体制から脱却するため国家開発計画で軽工業発展を唱え、これに必要な人材育成を目的とした協力を我が国に要請してきた。これを受けて我が国は無償資金協力にて1981～82年に日本・セネガル技術職業訓練センターを建設し、1984年から5年間で中堅技術者養成を目的としたプロジェクト方式技術協力を実施した。本プロジェクトは所期の目的を達成し1991年に終了した。その後、センターはセネガル産業界に中堅技術者を輩出し、セネガル経済の発展に寄与してきたが、最近の産業界の技術発展に伴い一層レベルの高い技術者育成が求められ、特に情報技術と制御技術の分野での人材育成が必要となり、この分野で上級技術者養成コース(BTS)を上記センターに開設したいとして、我が国にプロジェクト方式技術協力を要請してきた。

国際協力事業団は、1997年以来各種調査を重ねてきたが、今般、プロジェクトの実施マスタープランを協議・合意するため、1998年(平成10年)11月28日から12月7日まで、労働省職業能力開発局海外協力課課長 長江盛啓氏を団長とする実施協議調査団を現地に派遣した。この結果「セネガル職業訓練センター拡充計画」プロジェクトが、1999年4月1日から5年間にわたって実施されることになった。

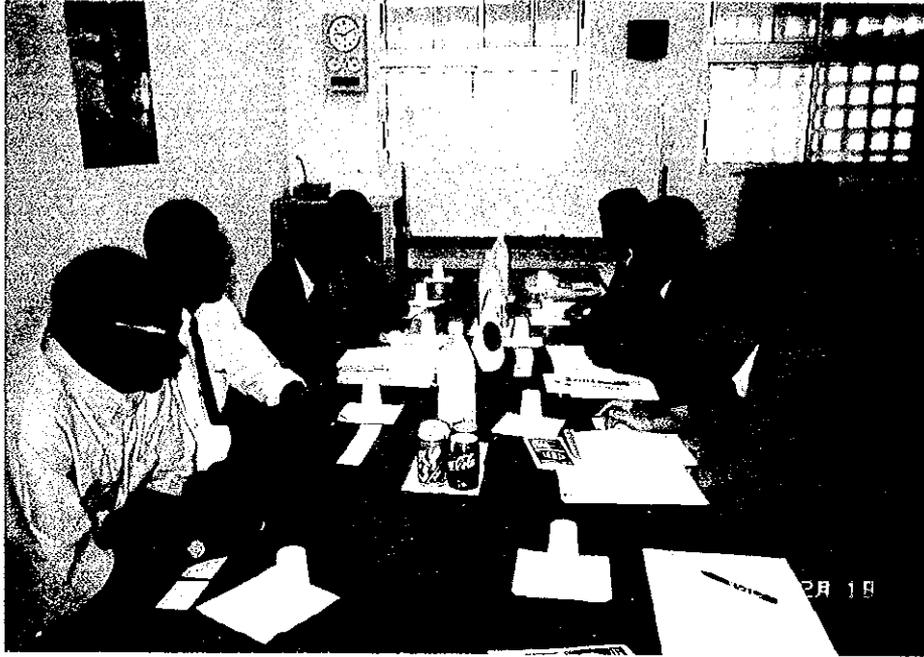
本報告書は同調査団の調査・協議結果を取りまとめたもので、今後のプロジェクト活動展開に広く活用されることを願うものである。

ここに調査団の各位をはじめ、ご協力頂いた外務省、労働省、雇用促進事業団、在セネガル日本大使館など、内外関係各機関の方々に深く謝意を表するとともに、今後とも一層のご支援をお願いする次第である。

平成11年1月

国際協力事業団

理事 泉 堅 二 郎



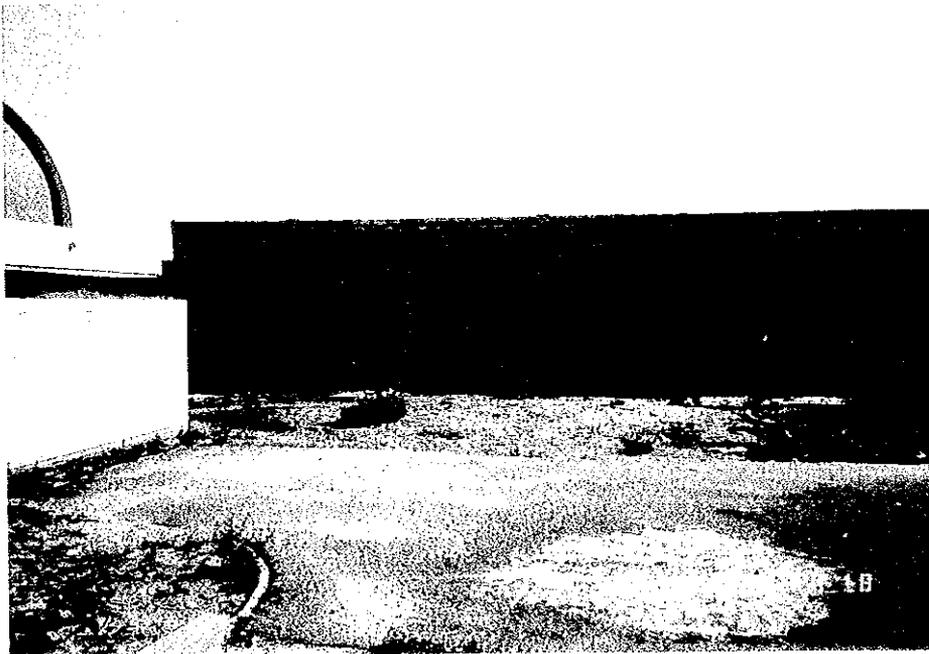
協議の様



討議議事録(R/D)署名・交換

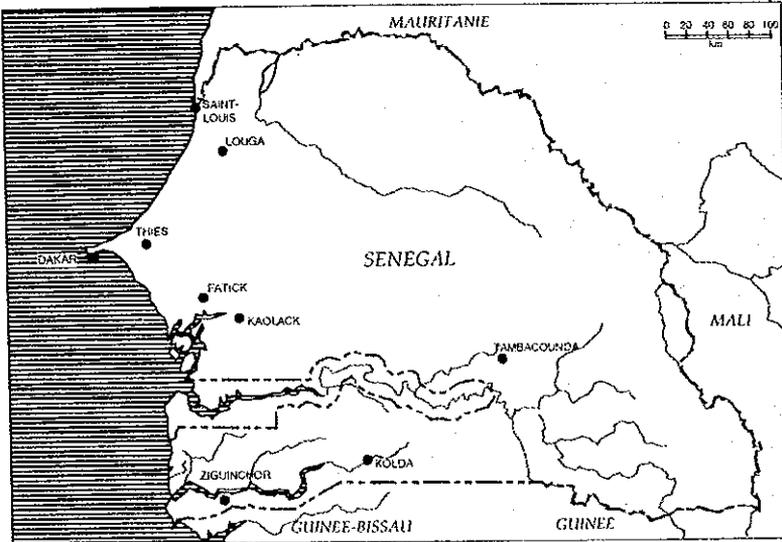
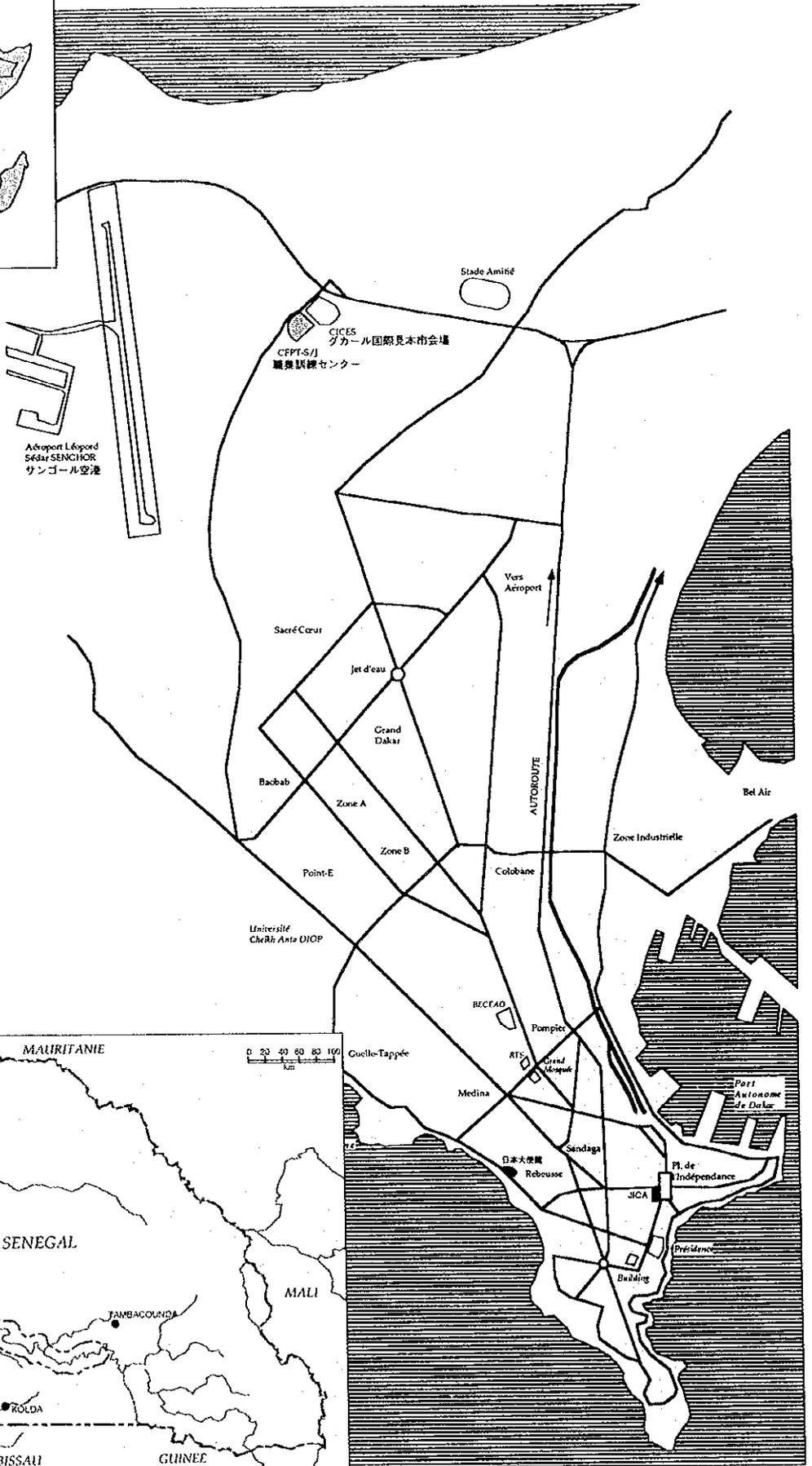
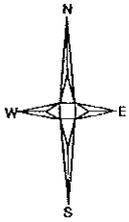
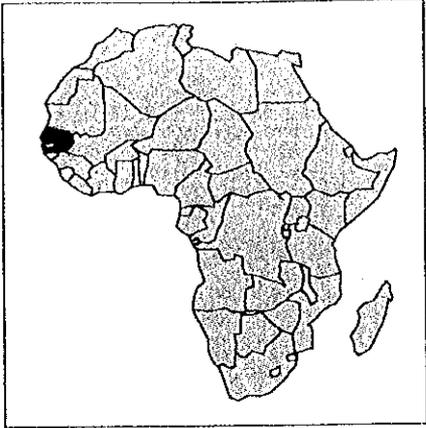


B T コース授業の様様



B T S 実習室建設現場

REPUBLIQUE DU SENEGAL



目 次

序 文
写 真
地 図

1. 実施協議調査団派遣.....	1
1-1 調査団派遣の経緯と目的.....	1
1-2 調査団の構成.....	2
1-3 調査日程.....	2
1-4 主要面談者.....	3
2. 要約.....	4
3. 討議議事録の交渉経緯.....	6
3-1 交渉経緯.....	6
3-3 B T S コースの開始時期.....	9
3-4 カウンターパートの確保.....	10
3-5 C F P T における教員の資格問題.....	10
4. プロジェクト実施上の留意点.....	11
4-1 機材の導入について.....	11
4-2 ダカール大学と職業能力開発大学校間のカウンターパート研修に関する合意 ...	11
付属資料	
1. 討議議事録(R/D)及びミニッツ(英語版).....	15
2. 討議議事録(R/D)及びミニッツ(仏語版).....	43
3. 実習場配置図.....	70

1. 実施協議調査団派遣

1-1 調査団派遣の経緯と目的

セネガル共和国は落花生輸出依存の経済から脱出するため国家開発計画の中で軽工業などの発展を図るべく人的資源の育成に大きな優先度を与えてきている。現在、セネガル＝日本職業訓練センター(CFP T-S/J)はセネガル第一の職業訓練校として中堅技能者資格(Brevet de Technicien: B T)を持つ技術者を育成しており、これらの卒業生は産業界から高い評価を得ている。しかし同国の産業界はより高いレベルを持つ上級技能者を必要としており、このニーズに応えるためセネガル政府はバカロレア資格保持者(高卒レベル)を対象とするディプロマレベルの上級技能者資格(Brevet de Technicien Supérieur: B T S)コースを大統領命令により認可した。これを受け、CFP TにおいてもB T Sコースの新規開設が計画され、その高い養成技術を活かし、産業界のニーズにより効率的に応えてゆける人材を養成することを目的とする上級技能者教育のために、本技術協力要請となった。

国際協力事業団は1997年8月に事前調査団、1998年6～7月に短期調査団を派遣し、協力実施の可能性の検討を行ってきた結果、本プロジェクト実施の妥当性は高いものと判断し、今般プロジェクト実施に必要な事項についてセネガル側と最終確認の協議を行うとともに、合意内容を討議議事録(Record of Discussions: R/D)として締結することを目的として本調査を実施した。

本調査団の目的は以下のとおりである。

(1) プロジェクト実施マスタープランの協議及び合意

事前調査、短期調査時に双方で協議検討したマスタープラン案をもとに最終的なプロジェクト実施マスタープランについて協議、その内容を確認してR/Dに記載し、署名を取り交わす。

(2) 暫定実施計画(Tentative Schedule of Implementation: T S I)の協議及び合意

事前調査、短期調査時に双方で協議検討した暫定実施計画案をもとに、5年間の協力期間で実施する活動計画について協議、その内容を確認してミニッツにプロジェクト・デザイン・マトリックス(PDM)及びT S Iとして添付し、署名を取り交わす。

(3) 初年度計画の作成

双方で合意した暫定実施計画に基づき、協力開始初年度の具体的な詳細活動計画について協議し、必要な準備作業を確認する。

(4) セネガル側実施体制の再確認

セネガル側のプロジェクト実施体制を再度確認し、留意事項などを確認する。

1-2 調査団の構成

団長／総括	長江 盛啓(ながえ もりあき)	労働省職業能力開発局海外協力課課長
職業訓練	上田 輝昭(うえだ てるあき)	雇用促進事業団職業能力開発指導部 国際協力課専門役
協力企画	松山 博文(まつやま ひろふみ)	国際協力事業団社会開発協力部 社会開発協力第二課課長代理
通訳	芝原 理之(しばはら まさゆき)	シックフランス株式会社

1-3 調査日程

日順	月日	曜日	調査行程	調査内容
1	11月28日	土	成田～パリ	移動
2	11月29日	日	パリ～ダカール	到着
3	11月30日	月	ダカール	09:00 JICA事務所打合せ 10:00 日本国大使館表敬 11:30 国家近代化省表敬 16:00 国民教育省官房長表敬 17:00 CFPT校長と打合せ
4	12月01日	火	ダカール	終日 CFPT協議
5	12月02日	水	ダカール	終日 CFPT協議
6	12月03日	木	ダカール	終日 CFPT協議
7	12月04日	金	ダカール	午前 国民教育省協議 13:00 R/D署名・交換 14:30 日本国大使館報告 15:30 経済財務企画省表敬
8	12月05日	土	ダカール～パリ	移動
9	12月06日	日	パリ～	移動
10	12月07日	月	成田	到着

1-4 主要面談者

(1) 経済財務企画省 (Ministère de l'Economie, des Finances et du Plan)

M. Daouda DIOP Adjoint au Directeur de la Coopération Economique et
Financière

(2) 国家近代化省 (Ministère de la Modernisation de l'Etat)

M. Papa Birama THIAM Directeur de l'Assistance Technique

M. Abdou Karim DIOP Adjoint au Directeur de l'Assistance Technique

(3) 国民教育省 (Ministere de l'Education Nationale)

M. Adama AIDARA Directeur de Cabinet

M. Malick NDIAYE Chef du Bureau de Suivi

M. Louis DIEDHIOU Chef de Division/Direction de la Formation
Professionnelle

M. Moussa SONKO Adjoint au Directeur de l'Administration Générale et
de l'Equipement

(4) セネガル=日本職業訓練センター (Centre de Formation Professionnelle et Technique
Sénégal-Japon : C F P T - S / J)

M. Ousseynou GUEYE Directeur du CFPT-S/J

M. Balla TIMERA Directeur des Etudes, CFPT-S/J

M. Massaër KEBE Chef des Travaux, CFPT-S/J

M. Cheikh A. T. SOW Intendant, CFPT-S/J

(5) 在セネガル日本大使館

Takashi FUTAGI 一等書記官

(6) J I C A セネガル事務所

塚田 恒雄 所 長

濱川 格 次 長

小林 大通 所 員

2. 要 約

(1) 討議議事録及びミニッツの署名・交換

1998年12月4日、本件実施協議調査団は、团长労働省職業能力開発局海外協力課課長 長江盛啓と国民教育省官房長 Adama Aidara の間で、要旨以下を内容とする技術協力について、討議議事録及びミニッツ(付属資料1.)の署名を取り交わした。

(2) 協力期間

1999年4月1日から5か年間

(3) 協力科目、定員

我が国の協力分野は、新設される上級技能者資格(B T S)レベルの工業情報技術科及び制御技術科である。訓練期間は2か年であり、定員は各科12名である。また、両科においては随時在職者の向上訓練も行うこととしている。

(4) 日本側投入

長期専門家：最大5名。1999年4月赴任見込み

短期専門家：必要な数

セネガル人カウンターパートの日本研修：年間2名から3名

機材供与：必要な額

予算総額見積：約6億円

(5) 施設の状況

1) 実習場

セネガル側は、実習教室4室からなる実習棟(約300平方メートル)を建設中。現在躯体工事及び電気配管工事が終わり、まもなく内装工事に入る見込み。工事終了は1998年12月末が見込まれている。

2) 専門家執務室

セネガル側は、協力開始までに専門家(技術専門家3名)及びカウンターパートの執務室を実習教室に隣接して建設しようとしているが、今のところ予算が確保されていない。国民教育大臣からは善処方指示がなされており、CFPTとしては予算確保に最大限努力することとしている。

(6) 訓練の開始時期

セネガル側からは1999年10月の訓練開始について強い要望があり、日本側からは準備期間の不十分なことを理由に2000年10月の開始を主張したところであるが、セネガル産業界及び教育界におけるB T Sコースに対する強い要望及びセネガル側の強い熱意にかんがみ、1999年10月訓練開始を目途に双方努力することとなった。

(7) カウンターパートの確保

カウンターパート指導員については、原則として前回協力時に本邦研修を行った指導員を配置転換することとし、既存のB Tコースには新規に採用する指導員を補充配置することとしている。C F P Tとしては各科最小限4名の指導員を配置することとしており、既に内定済みである。また、補充職員も1998年予算において既に3名が採用済みである。

3. 討議議事録の交渉経緯

3-1 交渉経緯

セネガル＝日本職業訓練センターは無償資金協力(1981～82年)で建物が建設された後、1984年から1991年までプロジェクト方式技術協力が実施された。現在当センターにはセンター長をはじめ当時のカウンターパートであったインストラクターが多数勤務しており、日本の技術協力に対する理解も深く、協議中一貫してBTSコースの早期開講に寄せる相手側の強い意欲が感じられた。

(1) R/Dの署名者

前回プロジェクト実施協議のR/D署名者は技術教育・職業訓練庁の官房長であった。その後セネガル側の組織改編に伴い、実施官庁が国民教育庁に変更になったため、今回も署名者は格付けが同じ国民教育省の官房長を予定していたが、次のような2点の問題が生じた。

すなわち、経済財務企画省教育担当官から①署名者を国民教育省職業訓練局長へ変更する旨、また、②経済財務企画省経済局長の署名をセネガル側の代表とし、実施機関の監督官庁である国民教育省職業訓練局長の署名はその下とする旨の指示があったのである。

①についてその理由を求めたところ、「官房長のポストは政治職のため実務的責任を持たないから」、とのことであったが、説得力に欠けるため、官房長の署名を要求した。また②については「法律で定められており、ドナー会議の席上でも経済財務企画省が積極的に参加するようとの要望が出されている」とのことであった。このため、在セネガル日本大使館とJICA事務所に問い合わせた結果、そのような法律はなく、経済財務企画省の参加はあくまで援助を受け入れているという意識を持たせるためのものであるとことが判明したため、経済財務企画省は実施機関の監督官庁の次に「証人」などの性格で署名すべきであると要求した。

協議の過程で経済財務企画省教育担当官が一方的にセンター長へ上記①②を要求していたことがわかった。このためセンター長から国民教育省官房長へ説明の後、同官房長から経済財務企画省官房長へ連絡を入れた。しかし同省経済局長が出張で不在のため、債務投資局長にR/D案を見せて了解を取り付け、国民教育省官房長のみ署名という当初の案どおりで合意にいたった。

署名者を誰にするかではほぼ1日費やさなければならなかったのは、国民教育省職業訓練局長と経済財務企画省経済局長が出張中で不在であったことに加えて、経済財務企画省が今までの調査の経緯を十分理解していない新任の教育担当官を本件担当としたため、センター長との間に齟齬が生じたものと思われる。

(2) 施設建設

現在建設中のB T Sコース用の実習棟はセネガル側負担により外壁と電気配管工事が終了して内装工事を残すのみとなって、完成までにあと1か月かかるとのことであった。リーダーと調整員及び専門員の執務室については、建設中の実習棟の横に新たに建てるべく予算要求中とのことであるが、既存の施設内で調整可能とのセンター長の回答を得た。

(3) カウンターパートの配置

R/Dでは工業情報技術科、制御技術科に各4名の計8名を配属することで合意したが、この数では最低限必要な数であることを相手側に十分理解させた結果、初年度は各科4名の計8名とし、その後それぞれ3名増員し、合計で14名とする配置計画を相手側が提出してきたので、ミニッツ ANNEX VIに添付した。

(4) R/Dへのセンター長の記載

供与機材の免税措置の手続きは、現実的にはセンター長の名前で手紙を出して行うことになるが、R/Dの中にセンター長の役割が述べられていないと手続き上支障が生じるため、センター長の役割についての記載要求があった。これについては免税措置の手続き上必要なことであり、前回のR/Dの「プロジェクト運営」の第4項に「センター長はプロジェクトリーダーと、プロジェクト実施のため連絡を密に取りあつて業務を遂行する」、と述べられてもいるので、「センター長はプロジェクト実施上の技術面においてプロジェクトリーダーと連絡を密に取りあつて業務を遂行する」との内容に修正し、新たなR/D付属文書IV(4)として記載した。

(5) B T Sコースの開始時期

プロジェクトは1999年4月1日から日本人チーム(リーダー、調整員、専門家3名)が派遣され、開始されることとなるが、それから6か月後の10月にセネガル国では新学期が始まるので、これにあわせてニーズが高いB T Sコースを開講したいと相手側は強く要請してきた。これに対して6か月間はコース開講までの準備期間としては短いと思われるが、相手側にカウンターパート(C/P)の確保、実習棟の整備、入学に必要な手続きの迅速化、専門家の業務環境整備などについて、十分な準備と調整が必要であることを認識させたうえで、1999年10月から1年次の授業が始まり、その次に2年次と計2年間分の共通分野の講義内容や評価が必要と思われるので、派遣期間が2年間を超えることも考えられる。

(6) プロジェクト組織図

セネガル側はリーダーと職業訓練局長が同格として位置づけられていることに難色を示し、リーダーのC/Pはセンター長であるので、センター長と同格となるべく図の修正を要請してきた。これに対し相手側が指摘するようにリーダーはセンター長を実質的なC/Pとして、センターがBTSコースを独自に運営できるよう指導するのであるが、本プロジェクト方式技術協力は単にセンターだけの向上をすべてとしているのではなく、ここでの成果をいかにセネガル国内に普及・展開していくかもリーダーとして考えるべきであること、このレベルはセンター長の業務範囲以外であり、これを担うのは職業訓練局長であるので、局長への助言者ということでリーダーを同格と位置づけていることを説明し、図の修正はしないこととなった。

3-2 施設建設の進捗状況

(1) 実習棟

実習室は4室あり、パソコン実習室、電気電子実習室、制御工学実習室が70平方メートル(7メートル×10メートル)、パソコン制御実習室が84平方メートル(7メートル×12メートル)となっている。

実習用機材がパソコンを中心とした精密機材を中心としているので、外部からの埃の進入を避けるために各実習室には二重ドアを採用することになっている。

さらに、パソコン室については、通信用ケーブルなどの配線変更が行えるようにフリーアクセスとすることとし、制御工学実習室とパソコン制御実習室の間の壁の中央にドアを取りつけて双方の実習室から直接出入りできるような工夫がなされている。

現在の工事の進捗状況は、コンクリートブロック積み上げによる躯体工事がほぼ終了してはいるが、まだ天井を支える丸木棒が取り付けられた状態であり、これから内装工事に取りかかる段取りになっている。

次に、実習机などの配置図面を参考に、コンセント取り付け位置などが決定されており、既に電気配線のチューブが埋め込まれてはいるものの、ほかの電気配線を要する器具については現在予算申請中とのことである。これらの器具の購入が承認され次第、直ちに器具の取り付けを行うこととしている、セネガル側は、1998年12月末までには工事を終了したいという意向である。

(2) 専門家執務室

セネガル側は、協力開始までに専門家(技術専門家3名)及びカウンターパートの執務室を実習教室に隣接して建設しようとしているが、調査時点で1999年度予算は確保されていない

かった。国民教育大臣からは善処方指示がなされており、CFPTとしては予算確保に最大限努力することとしている。なお、CFPTとしては、万一教育省による予算配布が得られなかった場合は、CFPTの自前収入(向上=成人訓練、外国人留学生の受け入れによる収入)による措置も不可能ではないとしている。調査団としては、経済財務企画省、国家近代化省及び教育省への表敬訪問、R/D署名後の報告などの機会に予算配布方配慮を申し入れた。

ただし、この執務室は現時点での見込みでは約30平方メートルと非常に狭隘であり、最大14名が見込まれるカウンターパートと専門家3名が入るには十分とはいえない。また、専門家としては、カウンターパートへの技術移転の場(実習場、執務室)のほかに専門家チーム内部の打合せや作業の場が必要であり、したがって、CFPTに対しては当該執務室の面積の拡大と、専門家の執務スペースを管理棟においても確保するよう申し入れておいた。なお、リーダー及び調整員については、センター長室の隣室がオフィスとして提供されることになっている。

3-3 BTSコースの開始時期

セネガル側からは1999年10月の訓練開始についてかねてから強い要望があった。日本側からは準備期間の不十分なことを理由に2000年10月の開始を主張し、累次の調査団・短期専門家派遣では決着を見なかったところであるが、セネガル産業界及び教育界におけるBTSコースに対する強い要望及びセネガル側の強い熱意にかんがみ、調査団としては1999年10月の訓練開始を目的に双方努力することに合意した。

調査団としては、1999年10月の開講のためには、カウンターパートへの技術移転を急ぐ必要があるほか、次の要件が満たされる必要があり、セネガル側はこれを確約した。

- ①実習場、カウンターパート執務室の早期完成
- ②カウンターパートの早期配置
- ③短期専門家派遣時に作成したカリキュラム・シラバスの変更作業
- ④教科書・教材の前倒し作成
- ⑤生徒募集手続きの早期開始
- ⑥購送機材の速やかな通関
- ⑦機材が到着し施設が整うまでの間、現行のBTコースの実習場・教室のBTSコースへの提供など

なお、日本側としても、現地調達などによる機材の速やかな調達、教材開発費などのロジスティックスの確保に十分配慮する必要がある。また、専門家においては現地到着後ゆっくり生活基盤を整える余裕もなく、赴任直後からかなりの業務が予測される。特に第1期生が卒業するまでの間は、カウンターパートへの技術移転(本邦研修を含む)、カリキュラム・シラバスの調整、教

材の作成、教育訓練の実施を同時に行わなければならない、かなり負担が重いことを覚悟して赴任する必要がある。

3-4 カウンターパートの確保

カウンターパート指導員については、原則として前回協力時に2年間の本邦研修を行った指導員(一部は調査時点で本邦研修中。ほとんどは現在BTコースに配属中)を配置転換することとしており、欠員となる既存のBTコースには新規に採用する指導員を補充配置することとしている。CFPTとしては、各科最小限4名、最大限6名の指導員を配置することとしており、ほとんどの者は既に内定済みである。また、補充職員も1998年予算において既に3名が採用済みである。採用計画は、ミニッツのANNEX VIのとおりである。なお、同ANNEX VIのPES (Professeur Enseignement Secondaire)は、BTSコースを教える正規の教員資格所持者となっており、訓練開始時において工業情報技術科では1名、制御技術科では2名が有資格教員である。

なお、管理系のカウンターパートとしてのR/DのANNEX V (LIST OF THE SENEGALESE PERSONNEL)中に揚げられているDirector of Study (Directeur des etudes)は事実上のCFPT-S/Jの副センター長であり、指導員の受け持ちの決定、指導員の管理、生徒の規律などを担当する。また、Chief Instructor (Chef de travaux)は、主として技術面において指導員の長となり、機材のメンテナンス、スペアパーツの調達、企業における実習などを担当する。

3-5 CFPTにおける教員の資格問題

上記配置転換予定の指導員の多くは、BTSコースを教える資格(CAESTP)を有していないが、本プロジェクトにおいては、その実際の能力にかんがみ、当分の間国民教育省により例外的に教えることが認められている。これらの指導員が正規のBTSコースの教員資格を取得するためにはミニッツのANNEX VIのPEM (Professeur Enseignement Moyen)の場合で更に1年間の技術教育が、MP (Mediateur Pedagogique)の場合では1年間の技術教育に加えて更に1年間の指導技法教育が追加教育として必要である。セネガル側としては、これら指導員を我が国の職業能力開発大学校における職業訓練指導員コース(JICAが実施する8か月の集団コース)にカウンターパート研修として参加させ、この研修期間を1年間の技術教育に認定できるようにしたいとしている。なお、MPで更に必要な指導技法教育については、ダカル大学において実施することである。

4. プロジェクト実施上の留意点

4-1 機材の導入について

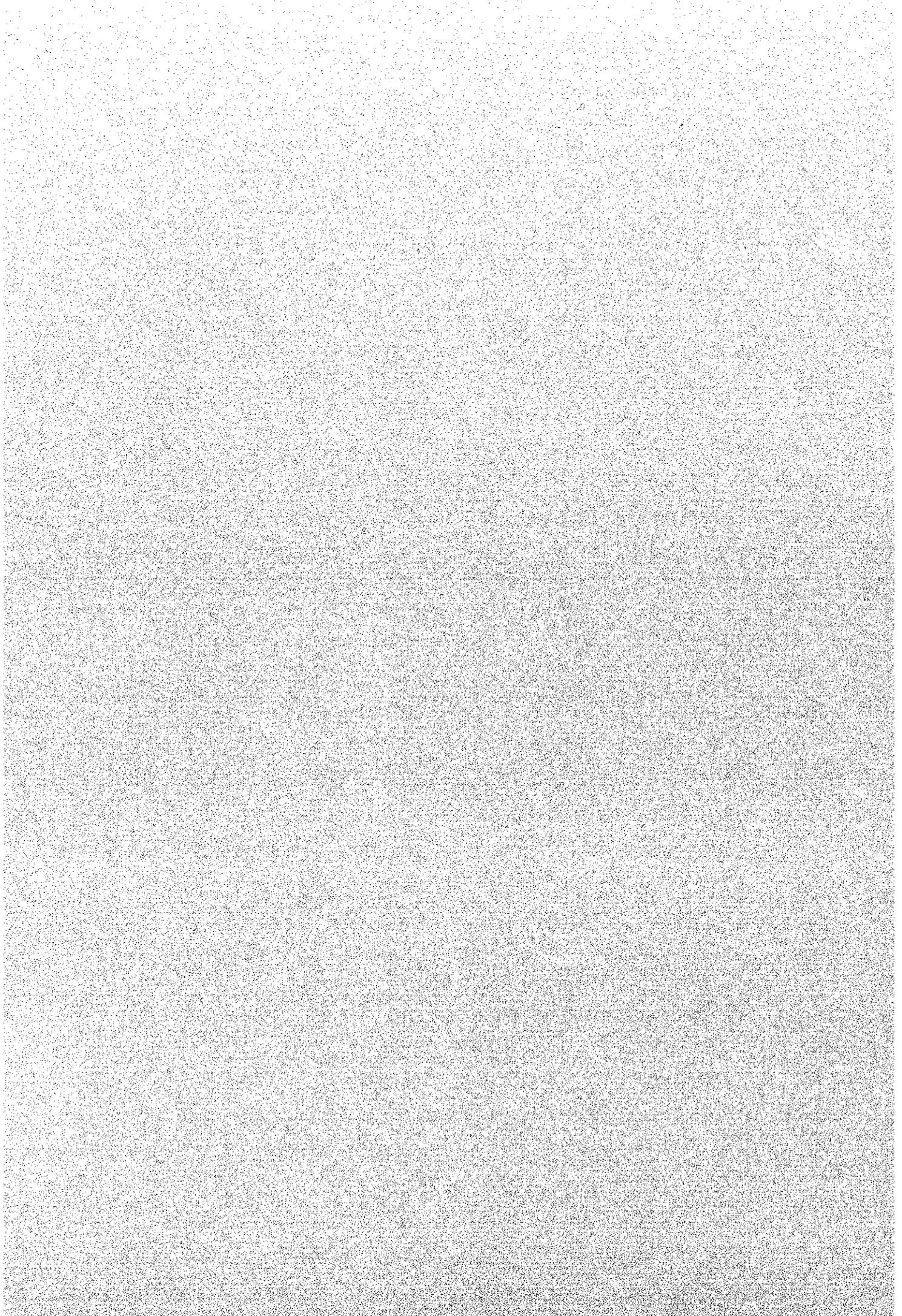
訓練を1999年10月に開始するためには、1期生について訓練カリキュラムの一部変更が必要となり、特に第1学年においては実技よりは学科中心のものとならざるを得ない。しかしながら、職業訓練においては学科と実技を切り離すのは望ましくなく、必要最小限の機材については現地調達、購送ともに迅速な処理が必要である。

4-2 ダカール大学と職業能力開発大学校間のカウンターパート研修に関する合意

C F P Tにおける指導員の資格問題はダカール大学と我が国の職業能力開発大学校との間でのカウンターパート研修に関する合意書が交わされれば解決する問題である。本来、この職業訓練指導員の集団コースは、すでに指導員となっている者に対する向上訓練が目的であり、またJ I C Aが実施している事業でもある。今後の検討には困難が予想されるものの、本プロジェクトの将来に大きな影響があるので、早急な解決が望まれる。

付 属 資 料

1. 討議議事録(R/D)及びミニッツ(英語版)
2. 討議議事録(R/D)及びミニッツ(仏語版)
3. 実習場配置図



RECORD OF DISCUSSIONS
BETWEEN
JAPANESE IMPLEMENTATION STUDY TEAM AND
AUTHORITIES CONCERNED OF THE GOVERNMENT OF
THE REPUBLIC OF SENEGAL
ON JAPANESE TECHNICAL COOPERATION
FOR THE HIGH-LEVEL TECHNICIAN (BTS) TRAINING PROJECT
AT THE SENEGAL-JAPAN VOCATIONAL TRAINING CENTER

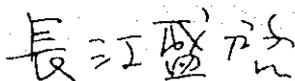
The Japanese Implementation Study Team organized by the Japan International Cooperation Agency and headed by Mr. Moriaki Nagae (hereinafter referred to as "the Team"), visited the Republic of Senegal from November 29th to December 5th 1998 for the purpose of working out the details of the technical cooperation program concerning the High-Level Technician (BTS) Training Project at the Senegal-Japan Vocational Training Center in the Republic of Senegal.

During its stay, the Team exchanged views and had a series of discussions with the Senegalese authorities concerned on desirable measures to be taken by the both Governments for successful implementation of the above-mentioned Project.

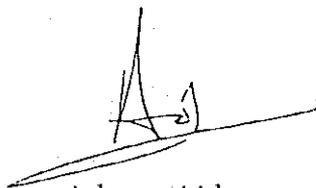
As a result of the discussions, the Team and the Senegalese authorities concerned agreed to recommend to their respective Governments the matters referred to in the document attached hereto.

Done in duplicate in the English and French languages, each text being equally authentic.

Dakar, on December 4th, 1998



Moriaki Nagae
Leader
Implementation Study Team
Japan International
Cooperation Agency
Japan



Adama Aidara
Director of Cabinet
Ministry of National Education
Senegal

ATTACHED DOCUMENT

I. COOPERATION BETWEEN BOTH GOVERNMENTS

1. The Government of the Republic of Senegal will implement the High-Level Technician (BTS) Training Project at the Senegal-Japan Vocational Training Center (hereinafter referred to as "the Project") in cooperation with the Government of Japan.
2. The Project will be implemented in accordance with the Master Plan which is given in ANNEX I.

II. MEASURES TO BE TAKEN BY THE GOVERNMENT OF JAPAN

In accordance with the laws and regulations in force in Japan, the Government of Japan will take, at its own expense, the following measures through the Japan International Cooperation Agency (hereinafter referred to as "JICA") according to the normal procedures under the technical cooperation scheme of Japan.

1. DISPATCH OF JAPANESE EXPERTS

The Government of Japan will provide the services of Japanese experts as listed in ANNEX II.

2. PROVISION OF MACHINERY AND EQUIPMENT

The Government of Japan will provide such machinery, equipment and other materials necessary for the implementation of the Project as listed in ANNEX III (hereinafter referred to as "the Equipment"). The Equipment will become the property of the Government of the Republic of Senegal upon being delivered C. I. F. to the Senegalese authorities concerned at the ports and/or airports of disembarkation.

3. TRAINING OF SENEGALESE PERSONNEL IN JAPAN

The Government of Japan will receive the Senegalese personnel connected with the Project for technical training in Japan.

III. MEASURES TO BE TAKEN BY THE GOVERNMENT OF THE REPUBLIC OF SENEGAL

1. The Government of the Republic of Senegal will take necessary measures to ensure self-reliant operation of the Project during and after the period of Japanese technical cooperation, through the full and active involvement by all related authorities, beneficiary groups and institutions in the Project.
2. The Government of the Republic of Senegal will ensure that the technologies and knowledge acquired by the Senegalese nationals as a result of the Japanese technical cooperation will contribute to economic and social development of the Republic of Senegal.

3. The Government of the Republic of Senegal will grant, in the Republic of Senegal, privileges, exemptions and benefits as listed in ANNEX IV and will grant privileges, exemptions and benefits no less favorable than those granted to experts of third countries or international organizations performing similar missions to the Japanese experts referred to in II-1 above and their families.
4. The Government of the Republic of Senegal will ensure that the Equipment referred to in II-2 above will be utilized effectively for the implementation of the Project in cooperation with the Japanese experts referred to in ANNEX II.
5. The Government of the Republic of Senegal will take necessary measures to ensure that the knowledge and experience acquired by the Senegalese personnel through technical training in Japan will be utilized effectively in the implementation of the Project.
6. In accordance with the laws and regulations in force in the the Republic of Senegal, the Government of the Republic of Senegal will take necessary measures to provide at its own expense for the Project:
 - (1) Services of the Senegalese counterpart personnel and administrative personnel as listed in ANNEX V;
 - (2) Land, buildings and facilities as listed in ANNEX VI ;
 - (3) Supply or replacement of machinery, equipment, instruments, vehicles, tools, spare parts and any other materials necessary for the implementation of the Project other than the Equipment provided through JICA under II-2 above ;
 - (4) Means of transport and travel allowances for the Japanese experts for official travel within the Republic of Senegal ; and
 - (5) Suitably furnished accommodations for the Japanese experts and their families.
7. In accordance with the laws and regulations in force in the Republic of Senegal, the Government of the Republic of Senegal will take necessary measures to :
 - (1) Meet expenses necessary for the transportation within the Republic of Senegal of the Equipment referred to in II-2 above as well as for the installation, operation and maintenance thereof;
 - (2) Exempt from Customs duties, internal taxes and any other charges imposed in the Republic of Senegal on the Equipment referred to in II-2 above ; and
 - (3) Meet running expenses necessary and sufficient for the implementation of the Project.

IV. ADMINISTRATION OF THE PROJECT

1. The Cabinet Director of Ministry of National Education, as the Project Director, will bear the overall responsibility for the implementation of the Project.
2. The Director of Vocational Training, as the Project Manager, will be responsible for the managerial and technical matters of the Project.
3. The Japanese Chief Advisor will provide necessary recommendations and advice to the Project Director and the Project Manager on any matters pertaining to the implementation of the Project.
4. The Director of CFPT-S/J will work in close consultation with the Chief Advisor regarding technical aspects of the implementation of the Project.
5. The Japanese experts will provide necessary technical guidance and advice to the Senegalese counterpart personnel on matters pertaining to the implementation of the Project.
6. For the effective and successful implementation of the Project, a Joint Coordinating Committee will be established whose functions and composition are described in ANNEX VII.

V. JOINT EVALUATION

Evaluation of the Project will be conducted jointly by the two Governments through JICA and the Senegalese authorities concerned, at the middle and during the last six months of the cooperation term in order to examine the level of achievement.

VI. CLAIMS AGAINST JAPANESE EXPERTS

The Government of the Republic of Senegal shall bear claims, if any arise, against the Japanese experts engaged in technical cooperation for the Project resulting from, occurring in the course of, or otherwise connected with the discharge of their official functions in the Republic of Senegal except for those arising from the willful misconduct or gross negligence of the Japanese experts.

VII. MUTUAL CONSULTATION

There will be mutual consultation between the two Governments on any major issues arising from or in connection with this Attached Document.

2

le

VIII. MEASURES TO PROMOTE UNDERSTANDING OF AND SUPPORT FOR THE PROJECT

For the purpose of promoting support for the Project among the people of the Republic of Senegal, the Government of the Republic of Senegal will take appropriate measures to make the Project widely known to the people of the Republic of Senegal.

IX. TERM OF COOPERATION

The duration of the technical cooperation for the Project under this Attached Document will be five (5) years from April 1st, 1999.

MASTER PLAN

1. Objective of the Project

(1) Overall Goal

High-Level Technicians necessary for the economic development of Senegal are supplied.

(2) Project Purpose

High-Level Technician training in the field of Industrial Information Technology and Automatics at the Senegal-Japan Vocational Training Center (hereinafter referred to as "CFPT-S/J") is well conducted.

2. Outputs of the Project

(1) Ability of CFPT-S/J instructors is improved.

(2) Appropriate training equipment is fully utilized at BTS courses in CFPT-S/J.

(3) Adequate BTS curricula for the Industrial Information Technology and Automatics courses are defined and made operational.

(4) Ability of CFPT-S/J supervisors is improved.

3. Activities of the Project

(1-1) Identify instructors for BTS courses.

(1-2) Develop training plan for instructors.

(1-3) Train instructors.

(1-4) Finalize experts' detailed work plans.

(1-5) Experts transfer technology to counterparts.

(2-1) Equip appropriate equipment.

(2-2) Improve maintenance system.

(2-2-1) Secure spare parts regularly.

(2-2-2) Conduct regular checkup for equipment.

(2-3) Improve access to information about high tech products.

(3-1) Develop detailed curricula for BTS courses.

(3-2) Train staff in charge of course planning.

(3-3) Develop training materials.

(3-4) Establish evaluation system for BTS courses.

(4-1) Analyse administrative management of CFPT-S/J.

(4-2) Improve administrative management if necessary.

LIST OF JAPANESE EXPERTS

1. Long-Term Experts

- (1) Chief Advisor
- (2) Coordinator
- (3) Expert in Information Technology
- (4) Expert in Control Engineering
- (5) Expert in Electronics

2. Short-Term Experts

Short-term experts will be dispatched, when necessity arises.



LIST OF MACHINERY AND EQUIPMENT

1. Equipment for common use
2. Equipment for Industrial Information Technology
 - 1) Computer Hard/Software
 - a) Equipped PC servers
 - b) Equipped PC-UNIX servers
 - c) Equipped PCs for trainees
 - d) PCs for assembling practice
 - 2) Communication Materials
 - a) Telephone exchange materials
 - b) Communication technology training kit
 - c) Measurement and testing instruments
 - 3) Materials for Electricity/Electronics
 - a) Electricity and electronics training kit
 - b) Digital electronics training kit
 - c) Measurement and testing instruments
3. Equipment for Automatics
 - 1) Materials for control engineering
 - a) PC equipments
 - b) Micro-computer equipments
 - c) Regulation system
 - d) Sequence control equipment
 - 2) Materials for Electricity/Electronics
 - a) Measurement equipment
 - b) PCB milling machine
 - c) Electronic training parts equipment
 - d) Set of tools
 - 3) Automatic system materials
 - a) Machine maintenance system

Note :

1. The above-mentioned equipment is limited to the equipment necessary for the transfer of technology by the Japanese experts.
2. The contents, specifications and quantity of the above-mentioned equipment to be provided each year will be discussed, in principle every year between the Japanese experts and the Senegalese counterpart personnel based on the annual plan of the Project, within the allocated budget of the Japanese fiscal year.




PRIVILEGES, EXEMPTION AND BENEFITS FOR JAPANESE EXPERTS

In accordance with the laws and regulation in force in the Republic of Senegal, the Government of the Republic of Senegal will grant the following:

1. Exemption from income tax and other charges of any kind imposed on or in connection with the living allowances remitted from abroad for the Japanese experts.
2. Exemption from, import and export duties and any other charges imposed on personal household effects of the Japanese experts and their families, including one motor vehicle per expert.
3. Use of all its available means to provide medical and other necessary assistance to the Japanese experts and their families.
4. Issue of entry and exit visas for the Japanese experts and their families free of charge upon application.
5. Issue of identification cards to the Japanese experts and their families to secure the cooperation of all governmental organizations necessary for the performance of the duties of the experts.
6. Exemption from customs duties for import and export of machinery and equipment by the Japanese experts in connection with the Project activities.

LIST OF THE SENEGALESE PERSONNEL

1. Counterpart personnel

- (1) Director of the CFPT-S/J
- (2) Director of Study
- (3) Chief Instructor
- (4) Instructors of the following fields:
 - a) Industrial Information Technology: minimum Four (4)
 - b) Automatics: minimum Four(4)

2. Other Personnel

- (1) Account Manager
- (2) Accountant
- (3) Student supervisors
- (4) Secretaries
- (5) Drivers
- (6) Other staff

LIST OF LAND, BUILDINGS AND FACILITIES

1. Land, buildings and facilities necessary for the Project.
2. Room and space necessary for installation and storage of the equipment.
3. Offices of the Chief Advisor, the Coordinator and other Japanese experts.
4. Workshops will be constructed by the Government of the Republic of Senegal.
5. Other facilities mutually agreed upon as necessary.



JOINT COORDINATING COMMITTEE

A joint coordinating committee will be established for the smooth and effective implementation of the Project. The joint coordinating committee will meet at least once a year and when necessity arises.

1) Functions

The joint coordinating committee will be established with the following functions :

- a. To formulate the annual work plan of the Project in accordance with a tentative schedule of implementation.
- b. To review the progress made in the implementation of the Project in relation to the tentative schedule and the achievements of the annual workplan.
- c. To review and exchange opinions on major issues that may arise during the implementation of the Project.

2) Structure

- a. Chairperson: Cabinet Director of the Ministry of National Education
- b. Members of the Senegalese Side
 - (a) Director of Vocational Training
 - (b) Director of CFPT-S/J
 - (c) Director of Study of CFPT-S/J
 - (d) Chief Instructor of CFPT-S/J
 - (e) Account Manager of CFPT-S/J
 - (f) Other personnel concerned
- c. Members of the Japanese Side
 - (a) Chief Advisor
 - (b) Coordinator
 - (c) Experts
 - (d) Representative of JICA Senegal Office
 - (e) Other personnel concerned, to be dispatched by JICA, if necessary.

Note : Official(s) of the Japanese Embassy in Senegal may attend the Joint Coordinating Committee meeting as observer(s).

MINUTES OF MEETING
BETWEEN
JAPANESE IMPLEMENTATION STUDY TEAM AND
AUTHORITIES CONCERNED OF THE GOVERNMENT OF
THE REPUBLIC OF SENEGAL
ON THE TECHNICAL COOPERATION
FOR THE HIGH-LEVEL TECHNICIAN (BTS) TRAINING PROJECT
AT THE SENEGAL-JAPAN VOCATIONAL TRAINING CENTER

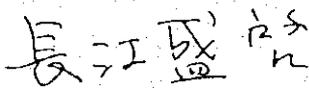
The Japanese Implementation Study Team organized by the Japan International Cooperation Agency and headed by Mr. Moriaki Nagae (hereinafter referred to as "the Team"), visited the Republic of Senegal for the purpose of working out the details of the technical cooperation program concerning the High-Level Technician (BTS) Training Project at the Senegal-Japan Vocational Training Center in the Republic of Senegal.

During its stay in the Republic of Senegal, the Team exchanged views and had a series of discussions with the Senegalese authorities concerned with respect to desirable measures to be taken by the both Governments for the successful implementation of the above-mentioned Project.

As a result of the discussions, the Team and the Senegalese authorities concerned agreed to recommend to their respective Governments the matters referred to in the document attached hereto as a supplement to the Record of Discussions.

Done in duplicate in the English and French languages, each text being equally authentic.

Dakar, on December 4th, 1998



Moriaki Nagae
Leader
Implementation Study Team
Japan International
Cooperation Agency
Japan



Adama Aidara
Director of Cabinet
Ministry of National Education
Senegal

ATTACHED DOCUMENT

I. TITLE OF THE PROJECT

High-Level Technician (BTS) Training Project at the Senegal-Japan Vocational Training Center

II. OUTLINE OF TECHNICAL COOPERATION

1. Content of technology transfer

A Japanese expert team will be dispatched to assist the Senegalese counterpart personnel in following areas :

- 1) Curricula development for training
- 2) Technology transfer
- 3) Operation and maintenance of training equipment
- 4) Development of teaching materials
- 5) Teaching methods
- 6) Course management
- 7) Training evaluation

2. Outline of training component

2.1. Categories of training

- 1) High level technician (BTS) training
- 2) Upgrade training

2.2. Training courses

- 1) Industrial Information Technology
- 2) Automatics

2.3. Period of training

- 1) BTS training: 2 years
- 2) Upgrade training: 35 to 300 hours module training

2.4. Recrutement of students

1) BTS training

12 students per course will be selected by the entrance examination, candidates must hold scientific or technical Baccalauréat, BT or equivalent diploma.

The above entrance examination for BTS shall be organized every year by the Ministry in charge of Vocational Training.

2) Upgrade training

Numbers are variable depending on requests.

2.5. Training hours

1) BTS training

7 hours of training per day, and 35 hours total per week.

2) Upgrade training

3 to 7 hours of training per day.

2.6. Training Standards

1) BTS training

The BTS standards for Industrial Information Technology and Automatics courses will be decided by the Presidential Ordinance in accordance with the Ordinance No. 95.282, dated on March 13th 1995.

2.7. Training content

1) BTS training

BTS training content is shown in ANNEX I.

2) Upgrade training

The training content for upgrade training will be arranged by request using module units developed for BTS training course.

2.8. Awarding of certificates of course completion

1) BTS training

The course graduates will be awarded BTS diploma issued by the Ministry in charge of Vocational Training.

2) Upgrade training

The successful participants of the course will be awarded training certificates issued by the Director of CFPT-S/J.

III. PROJECT DESIGN MATRIX (PDM)

The Team explained that the Project Design Matrix (hereinafter referred to as the "PDM") is commonly introduced into Japanese project-type technical cooperation in order to manage and implement projects clearly, efficiently and effectively. It is also used as the reference for monitoring and evaluation of the Project.

As a result of discussions, both sides agreed to apply the PDM as shown in ANNEX II to the Project with the following understandings:

(1) The PDM is a logically designed matrix which defines the initial understanding of the framework of the technical cooperation for the Project and indicates the logical steps toward the achievement of the Project Purpose.

(2) The PDM is to be flexibly developed according to the progress and achievements of the Project, upon agreement between the Japanese and Senegalese sides.

IV. TENTATIVE SCHEDULE OF IMPLEMENTATION

The Tentative Schedule of Implementation has been formulated according to the Record of Discussions, on condition that the necessary budget will be allocated for the implementation of the Project by both sides and that the schedule is subject to change within the scope of the Record of Discussions when necessity arises in the course of the Project implementation.

The senegalese side proposed to start the intake of students for the training courses from October 1, 1999 in view that the demands of senegalese industry for the High-Level technician are large and many students aspire for the new courses open at early time as possible.

The Japanese side expressed its concern about the insufficient preparation time for the opening on October 1, 1999 especially in the recruitment of satisfactory counterpart instructors both in competency and quantity, preparation of curricula, facilities and training materials, availability of equipment etc. The Senegalese side assured to do its best to cope with those difficulties and requested for the support and cooperation of the Japanese side.

The Tentative Schedule of Implementation is shown as ANNEX III.

V. PLAN OF OPERATION

The plan of Operation has been tentatively formulated according to the Record of Discussions. The Plan of Operation for the whole period is shown in ANNEX IV and the Annual Plan of Operation for the first year is shown in ANNEX V.

The Annual Plan of Operation is to be drafted by the Senegalese counterparts and the Japanese experts and is to be submitted to the Joint Coordinating Committee. The activities are subject to change within the scope of the Record of Discussions, if necessity arises in the course of the Project implementation.

VI. INPUTS BY THE JAPANESE SIDE

1) Dispatch of Japanese Experts

Both the Team and the Senegalese side confirmed that the relevant request form, namely the A-1 form, to assign Japanese long-term experts for the term of the technical cooperation will be submitted by the Senegalese side within five (5) weeks after the signing of the Record of Discussions.

2) Provision of Equipment

Both the Team and the Senegalese side confirmed that the relevant request form, namely A-4 form, for the provision of equipment for the first year of term of the technical cooperation will be submitted by the Senegalese side after consultation between the Senegalese authorities concerned and the Team.

The Senegalese side agreed that they will take necessary measures in coordination with relevant authorities, for the customs entry of the equipment provided by the Japanese Government without delay. The Ministry of National Education will be responsible for the proper documentation and clearance of the delivered equipment at the ports/airports of entry, as well as being responsible for the proper administration of the equipment provided for use and ensuring appropriate utilisation and maintenance for the implementation of the Project.

3) Training of counterpart personnel in Japan

Two (2) or Three (3) Senegalese personnel involved in the Project may be invited for technical training in Japan each year to acquire necessary knowledge, techniques and skills for the Project to achieve its purpose.

Both the Team and the Senegalese sides confirmed that the relevant request forms, namely the A-2 & A-3 forms, for the technical training of the Senegalese counterpart personnel in Japan for the first year will be submitted by the Senegalese side within five (5) weeks after the signing of the Record of Discussions.

In conformity with the project design Matrix, the senegalese side reiterated the hope that the proposed agreement, for the training of some of the counterpart instructors between the Polytechnic University (PTU) of Japan and the Polytechnic Institute (ESP) of the Cheikh Anta DIOP University of Senegal will be favorably considered by the Japanese side.

VII. INPUTS BY THE SENEGALESE SIDE

1) Assignment of Senegalese personnel

With reference to Item 6. (1), Article III. of the Record of Discussions, the Senegalese side agreed that an appropriate number of full-time counterpart personnel as well as administrative personnel will be assigned. The appointment of minimum eight (8) full time instructors as counterpart personnel will be done within four weeks after the signing of the Record of Discussions. The senegalese side presented an assignment plan of counterpart instructors, which is attached as ANNEX VI.

2) Allocation of Budget

With reference to Item 6. (4) and 6. (5) of Article III. of the Record of Discussions, the Senegalese side requested the Japanese side to consider supporting them because of financial difficulties.

With reference to Item 7. of Article III. of the Record of Discussions, the Senegalese side will allocate the budget necessary for the implementation of the Project:

- Salaries and other allowances for the Senegalese staff
- Expenses of electricity, water, fuel and other contingencies
- Operational expenses for customs clearance, storage, domestic transportation and installation of the equipment provided by the Japanese side
- Expenses for maintenance of facilities and equipment
- Other necessary local expenses

3) Land, Buildings and facilities

- a. Offices of the Chief Advisor, the Coordinator and other Japanese Experts.
- b. Workshops will be constructed as illustrated in ANNEX VII.

4) Budget necessary for the running expenses of the Project.

VIII. ADMINISTRATION OF THE PROJECT

The Organization Chart of the Project is shown as ANNEX VIII.

IX. OTHERS

The team, during its stay in the Republic of Senegal, exchanged views and had a series of discussions with the Senegalese authorities concerned. A list of the persons the team met is attached as ANNEX IX.

The members of the Team are listed in ANNEX X.

Curriculum of Industrial Information Technology

Fields	Subjects	1st Year		2nd Year		
		I	II	III	IV	
General Education	French	2	2	2	2	
	English	2	2	2	2	
	Mathematics	3	3	2	2	
	Management / Law	2	2	2	2	
	Japanese (Optional)	1	1	1	1	
	Total		10	10	9	9
Information Technology	Theory					
	General Setting	1				
	Algorithm	2				
	Operating Systems	2				
	Databases				2	
	Practical Exercise					
	Introduction to Computer	2				
	Programming	4	4			
	Operating Systems	2	2			
	Databases				4	
Total		13	6	0	6	
Computer Hardware	Theory					
	Analogic Electronics	2				
	Digital Electronics	2				
	Computer Architecture			2		
	Practical Exercise					
	PE Electronics	6	2			
	PE on Computer Hardware			4	4	
Production of Printed Circuits		4				
Total		10	6	6	4	
Computerized Communication	Theory					
	Communication Technology	2	2			
	Data Transmission		2			
	Network Technology		2			
	Practical Exercise					
	Data Transmission		4	3		
Network Utilization		3	3			
Network Installation				2		
Total		2	13	6	2	
Computerized Process Control	Theory					
	Process Control			2	2	
	Material for control			2	2	
	Practical Exercise					
	Automatic Systems Control			4	4	
Production of Interface Cards			4	4		
Total		0	0	12	12	
Project	Project			2	2	
Total of General Education			10	10	9	9
Total of Theory			11	6	6	6
Total of Practice			14	19	18	18
Grand Total			35	35	35	35

CURRICULUM OF BTS AUTOMATIC

Fields	Subjects	1st year		2st year	
		I	II	III	IV
General Education	Franch	2	2	2	2
	English	2	2	2	2
	Mathematics	3	3	2	2
	Management / Law	2	2	2	2
	Japanese (Optional)	1	1	1	1
	Total		10	10	9
Control Technology	Theory				
	Computer Control			2	
	Pneumatic/Hydraulic Technology	2			
	Electronic Technology		2		
	Electrical Pneumatic Technology			2	
	Practical Exercise				
	Introduction to Computer	2			
	Computer Control Exercises			4	4
	Pneumatic/Hydraulic Exercises	4	4		
Total		8	6	8	4
Electrical/Electronic	Theory				
	Analogical Electronics	2			
	Digital Electronics		2		
	Practice				
	Electronics Technology 1	4	4		
Electronics Technology 2			4	4	
Total		6	6	4	4
Machine drafting	Theory				
	Mechanism	2	2		
	Theory of Material				2
	Machine Drafting Technology		2		
	Practical Exercise				
	Technical Drawing	4	4		
	Practice on CAD			4	4
	Practice on Machining			4	4
Analysis of Mechanisms				2	
Total		6	8	8	12
Automatic system	Theory				
	Automatic system	2	2		
	Practice				
	Automatic system exercises	3	3		
Programming exercises			4	4	
Total		5	5	4	4
Project	Project			2	2
Total of General Education		10	10	9	9
Total of Theory		8	10	4	2
Total of Practice		17	15	20	22
Total		35	35	35	35

Project Design Matrix: High-level Technician (BTS) Training Project in CFPT-S/J

ANNEX II

Narrative Summary		Objectively Verifiable Indicators		Means of Verification		Important Assumptions	
<p>Overall Goal</p> <p>High-Level Technicians necessary for the economic development of Senegal are supplied.</p>	<p>1. Employment rate of BTS holders</p> <p>2. Position of BTS holders at enterprises and government offices.</p>	<p>1. Ministry of Employment and Labour</p> <p>2. Record of CFPT-S/J</p>	<p>1. Demands for the BTS technicians in the field of Industrial Information Technology and Automalics continue.</p>	<p>1. Senegalese counterparts will continue to work for CFPT-S/J.</p> <p>2. Sufficient income will be generated to run the center properly.</p>	<p>1. Senegalese counterparts will continue to work for CFPT-S/J.</p> <p>2. Long term experiences of being trained in Japan will be recognized officially in Senegal.</p>	<p>1. Space (facilities) for BTS courses is secured in CFPT-S/J.</p> <p>2. Steps to obtain status for BTS instructors are clarified in a part of CFPT-S/J.</p>	
<p>Project Purpose</p> <p>High-Level technician training in the fields of Industrial Information Technology and Automalics at the CFPT-S/J is well conducted.</p>	<p>Data relating enrollment /graduation (No. of applicants, examinees, graduates, etc.)</p>	<p>Annual Report of CFPT-S/J</p>	<p>1. Demands for the BTS technicians in the field of Industrial Information Technology and Automalics continue.</p>	<p>1. Senegalese counterparts will continue to work for CFPT-S/J.</p> <p>2. Sufficient income will be generated to run the center properly.</p>	<p>1. Senegalese counterparts will continue to work for CFPT-S/J.</p> <p>2. Long term experiences of being trained in Japan will be recognized officially in Senegal.</p>	<p>1. Space (facilities) for BTS courses is secured in CFPT-S/J.</p> <p>2. Steps to obtain status for BTS instructors are clarified in a part of CFPT-S/J.</p>	
<p>Outputs</p> <p>1. Ability of CFPT-S/J instructors is improved.</p> <p>2. Appropriate training equipment is fully utilized at BTS courses, CFPT-S/J.</p> <p>3. Adequate BTS curricula for the Industrial Information Technology and Electromechanics courses are defined and made operational.</p> <p>4. Ability of CFPT-S/J supervisors is improved.</p>	<p>1-1 No. of instructors' training courses, no. of trained instructors and total time of training</p> <p>1-2 Contents and quality of training courses</p> <p>1-3 Evaluation by experts</p> <p>2-1 No. of equipment / No. of trainees</p> <p>2-2 Coefficient of utilization of equipment</p> <p>2-3 No. of equipment in operation</p> <p>3-1 Approval of the curricula by Government of Senegal</p> <p>4-1 Performances of CFPT-S/J (training, equipment, budget)</p>	<p>1-1 Record of the project</p> <p>1-1&1-2 Final reports of training courses</p> <p>1-2 Certificates of completion of training courses</p> <p>1-3 Comments of experts</p> <p>2-1, 2-2 & 2-3 Record of the project</p> <p>3-1 Official gazette</p> <p>4-1 Annual Report of CFPT-S/J</p>	<p>1. Demands for the BTS technicians in the field of Industrial Information Technology and Automalics continue.</p>	<p>1. Senegalese counterparts will continue to work for CFPT-S/J.</p> <p>2. Sufficient income will be generated to run the center properly.</p>	<p>1. Senegalese counterparts will continue to work for CFPT-S/J.</p> <p>2. Long term experiences of being trained in Japan will be recognized officially in Senegal.</p>	<p>1. Space (facilities) for BTS courses is secured in CFPT-S/J.</p> <p>2. Steps to obtain status for BTS instructors are clarified in a part of CFPT-S/J.</p>	
<p>Activities</p> <p>1-1 Identify instructors for BTS courses.</p> <p>1-2 Develop training plan for instructors.</p> <p>1-3 Train instructors.</p> <p>1-4 Finalize experts' detailed work plans.</p> <p>1-5 Experts transfer technology to counterparts.</p> <p>2-1 Equip appropriate equipment.</p> <p>2-2 Improve maintenance system.</p> <p>2-2-1 Secure spare parts regularly.</p> <p>2-2-2 Conduct regular checkup for equipment.</p> <p>2-3 Improve access to information about high tech products.</p> <p>3-1 Develop detailed curricula for BTS courses.</p> <p>3-2 Train staff in charge of course planning.</p> <p>3-3 Develop training materials.</p> <p>3-4 Establish evaluation system for BTS courses.</p> <p>4-1 Analyse administrative management of CFPT-S/J.</p> <p>4-2 Improve administrative management if necessary.</p>	<p>Senegal Side</p> <p>S-1 Personnel</p> <p>-Counterparts</p> <p>-Administrative staff</p> <p>S-2 Buildings and Land</p> <p>-Project Office</p> <p>-Land</p> <p>-Facilities</p> <p>S-3 Operating Budget</p>	<p>Japan Side</p> <p>J-1 Personnel</p> <p>-Team Leader</p> <p>-Coordinator</p> <p>-Long-term Experts</p> <p>-Short-term Experts</p> <p>J-2 Equipment</p> <p>J-3 Counterparts Training in Japan</p>	<p>1. Demands for the BTS technicians in the field of Industrial Information Technology and Automalics continue.</p>	<p>1. Senegalese counterparts will continue to work for CFPT-S/J.</p> <p>2. Sufficient income will be generated to run the center properly.</p>	<p>1. Senegalese counterparts will continue to work for CFPT-S/J.</p> <p>2. Long term experiences of being trained in Japan will be recognized officially in Senegal.</p>	<p>1. Space (facilities) for BTS courses is secured in CFPT-S/J.</p> <p>2. Steps to obtain status for BTS instructors are clarified in a part of CFPT-S/J.</p>	

TENTATIVE SCHEDULE OF IMPLEMENTATION
HIGH-LEVEL TECHNICIAN TRAINING PROJECT AT CFPT-S/J

PHASE JAPANESE FISCAL YEAR	PREPARATORY		IMPLEMENTATION				
	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003
I. DURATION OF COOPERATION							
II. INPUTS BY SENEGALESE SIDE							
1. ASSIGNMENT OF COUNTERPART PERSONNEL							
2. ASSIGNMENT OF ADMINISTRATIVE PERSONNEL							
3. BUDGET							
III. INPUTS BY JAPANESE SIDE							
1. STUDY TEAMS							
2. LONG-TERM EXPERTS							
2-1. Chief Advisor							
2-2. Coordinator							
2-3. Expert in Information Technology							
2-4. Expert in Control Engineering							
2-5. Expert in Electronics							
3. SHORT-TERM EXPERTS							
4. PROVISION OF EQUIPMENTS							
5. TRAINING OF SENEGALESE COUNTERPART PERSONNEL IN JAPAN							
IV. TRAINING							
1. BTS							
2. UPGRADE TRAINING							

ANNUAL PLAN OF OPERATION FOR THE FIRST YEAR

ANNEX V

Subject of Activities	1999												2000		
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	1	2	3
1 Improvement to Instructors' ability															
1.1 Identify instructors for BTS training															
1.2 Develop training plan for instructors															
1.3 Train instructors : Training at CFPT (Technical Terms) : Training in Japan															
1.4 Finalize experts' detailed work plans															
1.5 Experts transfer technology to counterparts : Industrial Information Technology : Automatics															
2 Training equipments															
2.1 Equip appropriate equipment															
2.2 Improve maintenance system															
2.3 Secure spare parts regularly															
2.4 Conduct regular checkup for equipment															
2.5 Improve access to get information about high tech products															
3 Curriculum Development															
3.1 Develop detailed curriculum for BTS courses															
3.2 Train staff in charge of course planning															
3.3 Develop training materials															
3.4 Establish evaluation system for BTS courses															
4 Improvement of supervisor's ability															
4.1 Chief advisor provides advice for the improvement of administrative management															

U

ASSIGNMENT OF INSTRUCTORS

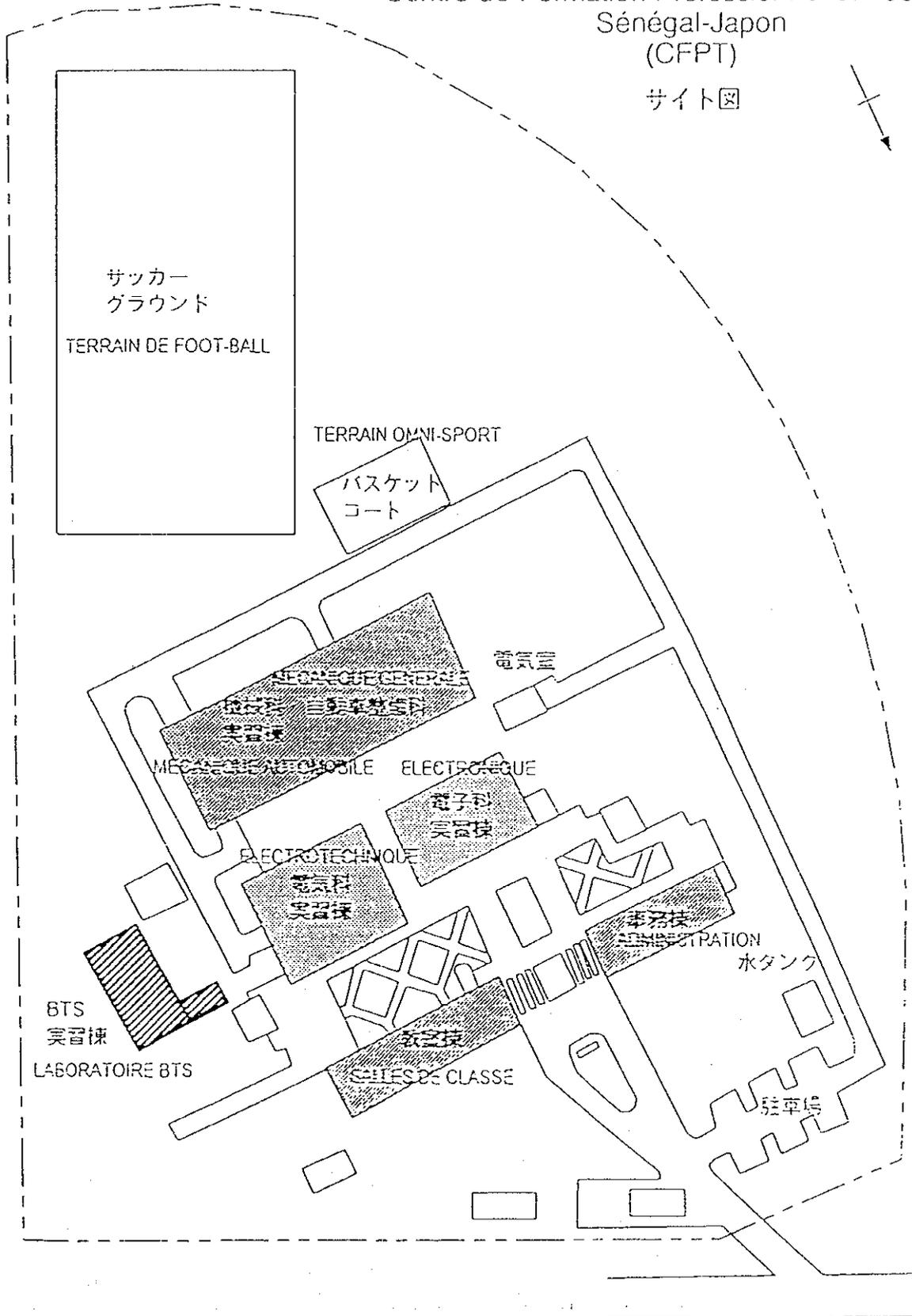
COURSES	1999	2000	2001
Industrial information	01 PES 03 MP	+ 02 MP	+ 01 PM/MP
Automatics	02 PES 01 PEM 01 MP	+ 02 MP	+ 01 PM

Nota :

PES = High School level instructor (Baccalaureat + 5 to 6 years university graduate)
 PEM = Secondary School level instructor (Baccalaureat + 4 years university graduate)
 MP = Secondary School level instructor (Baccalaureat + 3 years university graduate).

Centre de Formation Professionnel et Technique
Sénégal-Japon
(CFPT)

サイト図

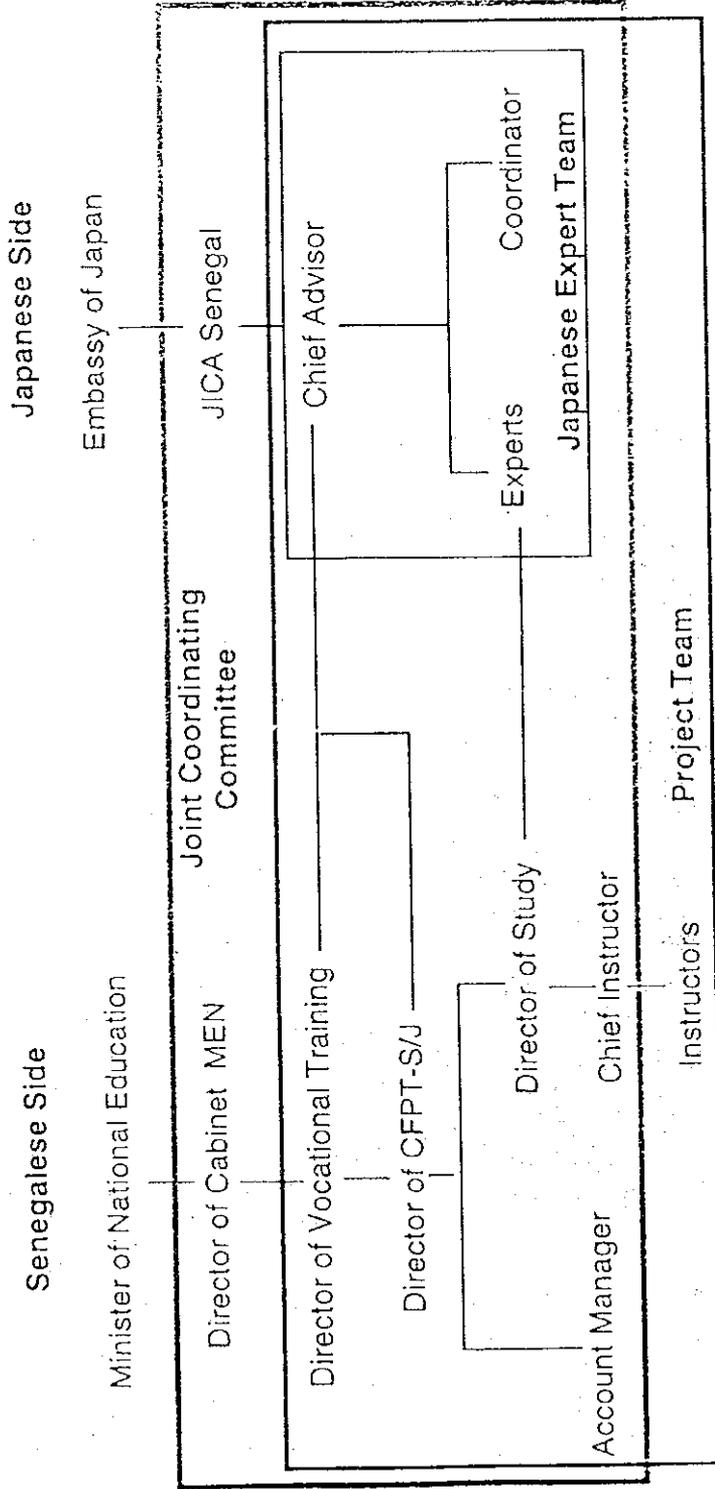


eg

→

TENTATIVE ORGANISATIC AL CHART OF THE PROJECT

ANNEX VIII



MEN=Ministry of National Education

ANNEX IX

MINISTRY OF NATIONAL EDUCATION

- | | | |
|---|----------|--|
| 1. M ^r Adama | AÏDARA | Cabinet Director |
| 2. M ^r Malick | NDIAYE | Chief, Research Division |
| 3. M ^r Louis | DIEDHIOU | Chief, Vocational Training Division,
Direction of Vocational Training |
| 4. M ^r Moussa | SONKO | Deputy Director, Direction of General Administration
and Equipment |
| 5. M ^r Ousseynou | GUEYE | Director, Senegal-Japan Vocational Center (CFPT S/J) |
| 6. M ^r Balla | TIMERA | Director of Studies, (CFPT S/J) |
| 7. M ^r Massaër | KEBE | Chief Instructor (CFPT S/J) |
| 8. M ^r Cheikh A.T. | SOW | Account Manager (CFPT S/J) |
| 9. A delegation of CFPT S/J instructors | | |

MINISTRY OF ECONOMY , FINANCE AND PLANNING (MEFP)

- | | | |
|--------------------------|------|--|
| 1. M ^r Daouda | DIOP | Deputy Director, Direction of Economic Cooperation
and Finance (DCEF) |
|--------------------------|------|--|

MINISTRY OF NATIONAL MODERNISATION

- | | | |
|-------------------------------|-------|---|
| 1. M ^r Papa Birama | THIAM | Director, Direction of Technical Assistance (DAT) |
| 2. M ^r Abdou Karim | DIOP | Deputy Director, Direction of Technical Assistance
(DAT) |

ANNEX X

MEMBERS OF THE TEAM

- | | | |
|----------------------------|-----------|---|
| 1. M ^r Moriaki | NAGAE | Director, Overseas Cooperation Division.
(Ministry of Labour) |
| 2. M ^r Teruaki | UEDA | Assitant Advisor, International Cooperation
(Employment Promotion Corporation) |
| 3. M ^r Hirofumi | MATSUYAMA | Deputy Director, Second Technical Cooperation
Division (JICA) |
| 4. Mr Masayuki | SHIBAHARA | Translator |

PROCES-VERBAL DES DISCUSSIONS TENUES
ENTRE LA MISSION JAPONAISE D'ETUDE DE MISE EN OEUVRE
ET LES AUTORITES CONCERNEES DU GOUVERNEMENT
DE LA REPUBLIQUE DU SENEGAL,
DANS LE CADRE DE LA COOPERATION TECHNIQUE
POUR LE PROJET DE FORMATION DE TECHNICIENS SUPERIEURS (BTS)
AU CENTRE DE FORMATION PROFESSIONNELLE ET TECHNIQUE
SENEGAL-JAPON

La mission japonaise d'Etude de Mise en Oeuvre organisée par l'Agence Japonaise de Coopération Internationale et dirigée par Monsieur Moriaki NAGAE (ci-après dénommée "la Mission"), a séjourné en République du Sénégal du 29 Novembre au 5 Décembre 1998, en vue d'établir les détails du programme de coopération technique, concernant le Projet de Formation de Techniciens Supérieurs (BTS) au Centre de Formation Professionnelle et Technique Sénégal-Japon.

Durant son séjour, la mission a eu une série de discussions et a échangé des vues avec les autorités sénégalaises concernées au sujet des mesures nécessaires à prendre par les deux Gouvernements en vue de la mise en oeuvre du Projet.

Au terme des discussions, les deux parties sont convenues de faire les recommandations à leurs Gouvernements respectifs sur les sujets auxquels il est fait référence dans le document ci-annexé.

Fait en deux (2) exemplaires dans les langues anglaise et française, chaque texte faisant également foi.

Dakar, le 4 Décembre 1998

Moriaki NAGAE
Chef de Mission Japonaise
d'Etude de Mise en Oeuvre
Agence Japonaise de Coopération
Internationale
JAPON

Adama AIDARA
Directeur du Cabinet
Ministère de l'Education Nationale
SENEGAL

DOCUMENT ANNEXE

I. COOPERATION ENTRE LES DEUX GOUVERNEMENTS

1. Le Gouvernement de la République du Sénégal mettra en œuvre le Projet de Formation de Techniciens Supérieurs (BTS) au Centre de Formation Professionnelle et Technique (CFPT) Sénégal-Japon (ci-après dénommé "le Projet") en coopération avec le Gouvernement du Japon.
2. Le projet sera exécuté conformément au Plan Directeur joint en ANNEXE I.

II. MESURES A PRENDRE PAR LE GOUVERNEMENT DU JAPON

Conformément aux lois et règlements en vigueur au Japon, le Gouvernement du Japon prendra à sa charge, par l'intermédiaire de l'Agence Japonaise de Coopération Internationale (ci-après dénommée la JICA), les mesures suivantes en accord avec la procédure normale du plan de coopération technique du Japon.

1. ENVOI DES EXPERTS JAPONAIS

Le Gouvernement du Japon fournira les services des experts japonais énumérés en ANNEXE II.

2. FOURNITURE DES APPAREILS ET EQUIPEMENT

Le Gouvernement du Japon fournira les appareils, équipement et autres matériels nécessaires à l'exécution du Projet tels qu'énumérés en ANNEXE III (ci-après dénommés "l'Équipement"). L'Équipement deviendra propriété du Gouvernement de la République du Sénégal, dès qu'il sera livré au CAF aux autorités sénégalaises concernées, dans les ports et/ou les aéroports de débarquement.

3. FORMATION DU PERSONNEL SENEGALAIS AU JAPON

Le Gouvernement du Japon recevra le personnel sénégalais concerné par le Projet, en vue de sa formation technique.

III. MESURES A PRENDRE PAR LE GOUVERNEMENT DE LA REPUBLIQUE DU SENEGAL

1. Le Gouvernement de la République du Sénégal prendra les mesures nécessaires pour assurer le bon déroulement du Projet pendant et après la durée de la coopération technique du Japon, avec l'implication effective des autorités concernées ainsi que des partenaires et des institutions liés au projet.
2. Le Gouvernement de la République du Sénégal assurera que la technologie et les connaissances acquises par les sénégalais, résultat de la coopération technique du Japon, contribueront au développement social et économique de la République du Sénégal.

3. Le Gouvernement de la République du Sénégal accordera dans la République du Sénégal, les privilèges, exonération et bénéfice énumérés en ANNEXE IV aux experts japonais et leurs familles. Il assurera que ces privilèges, exonération et bénéfice ne soient pas moins favorables que ceux des experts de pays tiers ou d'organisations internationales qui se chargent de missions similaires.
4. Le Gouvernement de la République du Sénégal assurera que l'Équipement référé en II-2 ci-dessus sera utilisé effectivement pour la bonne exécution du Projet en collaboration avec les experts japonais énumérés en ANNEXE II.
5. Le Gouvernement de la République du Sénégal prendra les mesures nécessaires pour assurer que les connaissances et expériences acquises par le personnel sénégalais pendant le stage technique au Japon, seront utilisées effectivement pour la bonne exécution du Projet.
6. Conformément aux lois et règlements en vigueur au Sénégal, le Gouvernement du Sénégal prendra en charge pour le projet les mesures suivantes :
 - (1) Services des homologues sénégalais et du personnel administratif comme indiquée en ANNEXE V ;
 - (2) Terrain, bâtiment et les commodités comme indiquée en ANNEXE VI ;
 - (3) Fourniture ou remplacement d'appareils, équipements, instruments, véhicules, outils, pièces de rechange et matériels divers nécessaires au Projet, en dehors de l'équipement fourni par la JICA cité en II-2 ;
 - (4) Moyens de transport et frais de déplacement pour les experts japonais, à l'occasion de missions à l'intérieur de la République du Sénégal ;
 - (5) Logement convenablement meublés pour les experts japonais et leurs familles.
7. Conformément aux lois et règlements en vigueur au Sénégal, le Gouvernement du Sénégal prendra les mesures nécessaires pour :
 - (1) Couvrir les dépenses nécessaires pour le transport à l'intérieur de la République du Sénégal de l'équipement cité en II-2, son installation, son fonctionnement et son entretien.
 - (2) Exonérer l'équipement cité en II-2 de frais de douane, taxe intérieure et autres frais imposés à l'intérieur de la République du Sénégal ;
 - (3) Allouer un budget de fonctionnement approprié pour la bonne exécution du Projet.

IV. ADMINISTRATION DU PROJET

1. Le Directeur de Cabinet du Ministre de l'Education Nationale, Directeur du Projet, assumera toutes les responsabilités de son exécution.
2. Le Directeur de la Formation Professionnelle, chef du Projet, se chargera des questions techniques et administratives du Projet.
3. Le conseiller en chef japonais fournira au Directeur et au chef du Projet les recommandations et conseils nécessaires relatifs à l'exécution du Projet.
4. Le Directeur du CFPT se chargera en consultation étroite avec le conseiller en chef des questions techniques liées à l'exécution du projet.
5. Les experts japonais donneront les orientations et les conseils techniques au personnel homologue sénégalais, en ce qui concerne les questions relatives à l'exécution du Projet.
6. Pour la réalisation effective et le succès du Projet, un comité mixte de coordination sera mis en place. La fonction et la composition de ce comité sont définies en ANNEXE VII.

V. EVALUATION DU PROJET

L'évaluation du Projet sera faite conjointement par les deux Gouvernements par l'intermédiaire de la JICA et des autorités Sénégalaises concernées. Cette évaluation est prévue à mi-parcours et pendant les six derniers mois du Projet.

VI. RECLAMATION CONTRE LES EXPERTS JAPONAIS

Le Gouvernement de la République du Sénégal acceptera d'assumer la responsabilité relative aux réclamations qui seraient faites contre les experts japonais engagés dans le Projet, si celles-ci sont liées à l'accomplissement de leurs fonctions officielles en République du Sénégal. Il sera fait cependant exception de celles survenues suite à une inconduite volontaire ou à une négligence importante de la part des experts japonais.

VII. CONSULTATION MUTUELLE

Les deux Gouvernements se consulteront à propos des questions importantes découlant du présent Document Annexé ou en rapport avec celui-ci.

VIII. MESURES POUR PROMOUVOIR ET SOUTENIR LE PROJET

Pour obtenir le soutien de la population sénégalaise, le Gouvernement de la République du Sénégal prendra les mesures appropriées pour une large diffusion du Projet dans la République du Sénégal.

IX. DUREE DE LA COOPERATION

La durée de la coopération technique pour le Projet dans le cadre du présent Document Annexé sera de cinq (5) ans, à compter du 1er Avril 1999.

ANNEXE I

PLAN DIRECTEUR

1. Objectif du Projet

(1) Objectif général

L'objectif général est de contribuer au développement économique du Sénégal à travers une satisfaction des besoins en ressources humaines.

(2) Objectif du Projet

L'objectif du Projet est de former des techniciens supérieurs dans les domaines de l'Informatique Industrielle et de l'Automatique au CFPT-S/J.

2. Résultats attendus

- 1) Amélioration des compétences des formateurs affectés au Projet,
- 2) Mise en place et utilisation efficiente des matériels et équipements didactiques pour une bonne exécution du Projet,
- 3) Définition et mise en œuvre de programmes BTS adéquats pour les spécialités Informatique Industrielle et Automatique.
- 4) Amélioration des compétences du personnel administratif.

3. Activités du Projet

(1-1) Sélectionner les formateurs pour le BTS.

(1-2) Mettre en place un plan de formation des formateurs.

(1-3) Effectuer la formation des formateurs.

(1-4) Définir les tâches des experts japonais.

(1-5) Assurer le transfert de technologie avec les experts.

(2-1) Mettre en place les équipements appropriés.

(2-2) Améliorer le système de maintenance.

(2-3) Fournir régulièrement les pièces détachées.

(2-4) Promouvoir la maintenance préventive.

(2-5) Améliorer le dispositif d'accès à l'information des produits de haute technologie.

(3-1) Elaborer les détails du programme BTS.

(3-2) Former le personnel capable d'élaborer des programmes.

(3-3) Elaborer les fascicules.

(3-4) Fixer les règlements de l'examen du BTS.

(4-1) Analyser la gestion du CFPT-S/J.

(4-2) Améliorer la gestion si nécessaire.

ANNEXE II

LISTE DES EXPERTS JAPONAIS

1. Experts de longue durée

- (1) Conseiller en chef
- (2) Coordinateur
- (3) Expert en Technologie Informatique
- (4) Expert en Automatique
- (5) Expert en Electronique

2. Envoi des experts de courte durée

Des experts de courte durée seront envoyés en cas de nécessité.

ANNEXE III
LISTE DES EQUIPEMENTS

1. Equipements à usage général

2. Equipement pour l'Informatique Industrielle

1) Matériel Informatique

- a) Serveur PC équipé
- b) Serveur PC-UNIX équipé
- c) Ordinateurs équipés pour les étudiants
- d) Ordinateurs d'assemblage pour les travaux pratiques

2) Matériels de communication

- a) Matériels d'autocommutation téléphonique
- b) Kit de formation en technologie de communication
- c) Instruments de mesures et testeurs

3) Matériels d'électricité/électronique

- a) Kit de formation en électricité et en électronique
- b) Kit de formation en électronique digitale
- c) Appareils de mesures et testeurs

3. Equipement pour l'Automatique

1) Matériel de contrôle

- a) Ordinateur PC équipé
- b) Micro-ordinateur équipé
- c) Système de régulation
- d) Contrôleur de séquence

2) Matériel d'électricité/électronique

- a) Appareils de mesures
- b) Graveur de circuits imprimés
- c) Equipement pour les travaux pratiques d'électronique
- d) Jeux complets d'outils pour les travaux pratiques

3) Matériel de systèmes automatiques

- a) Systèmes de maintenance de machines

Note :

1. Les équipements ci-dessus sont limités aux équipements nécessaires pour le transfert de technologie par les experts japonais.
2. Le contenu, la spécification et la quantité des équipements qui seront fournis chaque année seront discutés entre les experts japonais et les homologues sénégalais sur la base du plan annuel du Projet, et en fonction des disponibilités budgétaires de l'année fiscale du Japon.

ANNEXE IV

PRIVILEGES, EXONERATIONS ET BENEFICES POUR LES EXPERTS JAPONAIS

Conformément aux lois et règlement en vigueur au Sénégal, le Gouvernement de la République du Sénégal accordera les privilèges, exonérations et bénéfices suivantes:

1. Exonération des impôts sur le revenu et des taxes de toutes sortes sur les allocations de prise en charge provenant de l'étranger.
2. Exonération de taxes et autres charges imposées sur l'importation et l'exportation d'effets personnels et ménagers des experts et leurs familles, y compris un (1) véhicule motorisé par expert.
3. Utilisation de tous les moyens disponibles pour fournir l'assistance médicale et les autres assistances nécessaires aux experts japonais et à leurs familles.
4. Délivrance gratuite du visa d'entrée et de sortie pour les experts japonais et leurs familles.
5. Délivrance de cartes d'identité aux experts japonais et à leurs familles, afin de s'assurer la coopération des autorités concernées dans l'accomplissement des tâches des experts japonais.
6. Exonération des taxes sur l'importation et l'exportation pour les équipements, relatifs aux activités du Projet, apportés par les experts.

ANNEXE V

LISTE DU PERSONNEL SENEGALAIS

1. Homologues sénégalais

- (1) Directeur du CFPT-S/J
- (2) Directeur des études
- (3) Chef des travaux
- (4) Formateurs des spécialités suivantes :
 - a) Informatique Industrielle : minimum quatre (4)
 - b) Automatique : minimum quatre (4)

2. Autre Personnel

- (1) Intendant
- (2) Comptable des matières
- (3) Surveillants
- (4) Secrétaires
- (5) Chauffeurs
- (6) Autres

ANNEXE VI

TERRAIN, BATIMENT ET COMMODITES

1. Terrain, bâtiment et commodités nécessaires pour le Projet
2. Bureau et espace nécessaires pour l'installation et le stockage des équipements
3. Bureaux du Conseiller en Chef, du coordinateur et des autres experts japonais
4. Ateliers BTS seront construits par le Gouvernement de la République du Sénégal.
5. Autres commodités acceptées d'un commun accord

ANNEXE VII

COMITE MIXTE DE COORDINATION

Un Comité mixte de coordination sera mis en place pour le bon déroulement du Projet. Le comité mixte de coordination se réunira au moins une (1) fois par an et chaque fois que de besoin.

1) Fonctions du comité mixte de coordination

Le comité mixte de coordination est chargé de :

- a. Arrêter le plan annuel de travail du Projet conformément au calendrier provisoire qui sera défini dans le Procès Verbal des Discussions d'Etude de Mise en œuvre.
- b. Examiner l'état d'exécution du Projet par rapport au calendrier initial et aux résultats du plan annuel.
- c. Examiner et échanger des points de vue sur les principaux problèmes relatifs au Projet.

2) Composition

a. Président : Directeur de cabinet du Ministre de l'Education Nationale.

b. La partie sénégalaise

- (a) Directeur de la formation professionnelle
- (b) Directeur du CFPT-S/J
- (c) Directeur des études du CFPT-S/J
- (d) Chef des Travaux du CFPT-S/J
- (e) Intendant du CFPT-S/J
- (f) Autre personnel concerné, si nécessaire

c. La partie japonaise

- (a) Conseiller en chef
- (b) Coordinateur
- (c) Experts
- (d) Représentant de la JICA Sénégal
- (e) Autres personnels concernés de la JICA selon la nécessité.

NB : Les fonctionnaires de l'Ambassade du Japon à Dakar pourront y assister en tant qu'observateurs.